



金沢河川国道事務所

記者発表資料
令和3年8月20日
扱い: 配布後解禁

こぶまち

国道8号金沢市古府町地先におけるケーブル切断事故について (事故原因・再発防止策のお知らせ)

- 7月26日(月)午後11時半頃、国道8号金沢市古府町地先の排水側溝の付け替え工事において、情報通信ケーブルを切断する事故が発生しました。
- この度、事故概要、原因等に関する調査結果と併せ、再発防止策をお知らせします。
- 今回の事故により、通信環境等に障害が発生した地域の皆様、関係者の皆様に対し、大変ご迷惑をおかけしましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

【位置図】



【拡大図】



お問い合わせ先

国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 かわはら かつみ 川原 克美
さいねん
住所 : 金沢市西念4丁目23番5号
電話 : 076-264-9918(道路管理第二課直通)
FAX : 076-233-9632

1. 事故概要

- ① 本工事は、舗装面の切削と再舗装、歩車道境界の排水側溝の付け替えにより雨水処理を改善する工事です。
- ② 当日、施工会社は7月26日（月）夜間21：40頃から深さ25cmで舗装切断作業を行いましたが、7月27日（火）1：30頃、通信障害が発生したとの連絡が入り、現地を調査したところ、7月26日（月）23：30頃より埋設管路および管路内の情報通信ケーブルの切断が発生していることが判明した。

2. 工事概要

工事名：R2金沢国道維持道路冠水対策工事

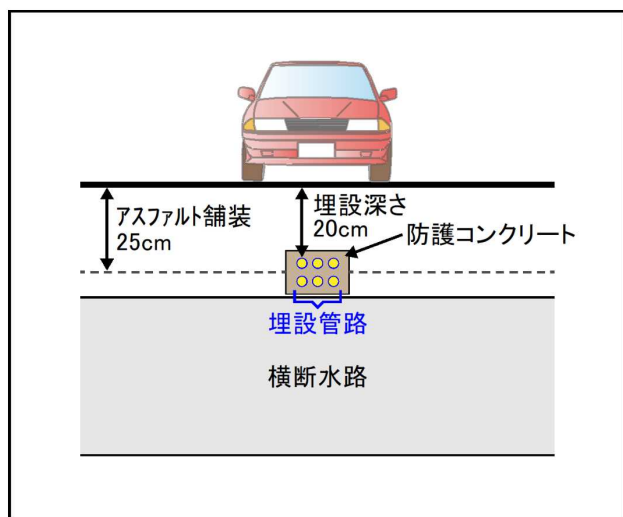
施工会社：鹿島道路株式会社 北陸支店（新潟市中央区神道寺南）

工事場所：国道8号 金沢市神野地区、古府地区、今町地区、岸川地区
国道159号 金沢市兼六元町地区

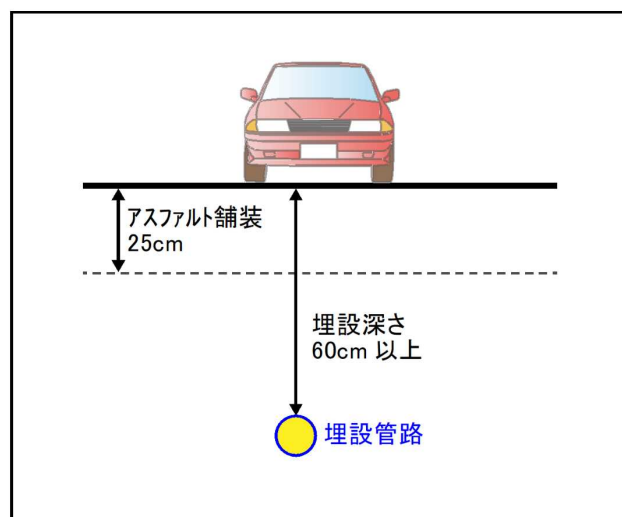
工期：令和3年3月17日～令和4年3月2日

3. 事故原因

- ・ 金沢河川国道事務所は、施工会社へ当該工事の仕様書に基づく地下埋設物の調査を求めていた他、事前の埋設物関係資料の提示、埋設位置を示す鈔の確認指示、横断水路と近接することから十分な注意喚起を行っていた。
- ・ しかし、施工会社は、事前に十分な調査を行わず、舗装より深い位置に埋設管路があると思い込んでしまった。
- ・ この思い込みにより、施工会社は、当該工事箇所内で行った舗装調査（コア採取）の結果や舗装点検記録から確認された舗装厚さ（25cm）に基づき、深さ25cmの舗装切断作業を進めてしまい、埋設深さ20cmに設置される情報通信ケーブルを切断した。



＜ケーブル切断箇所の埋設管路状況＞



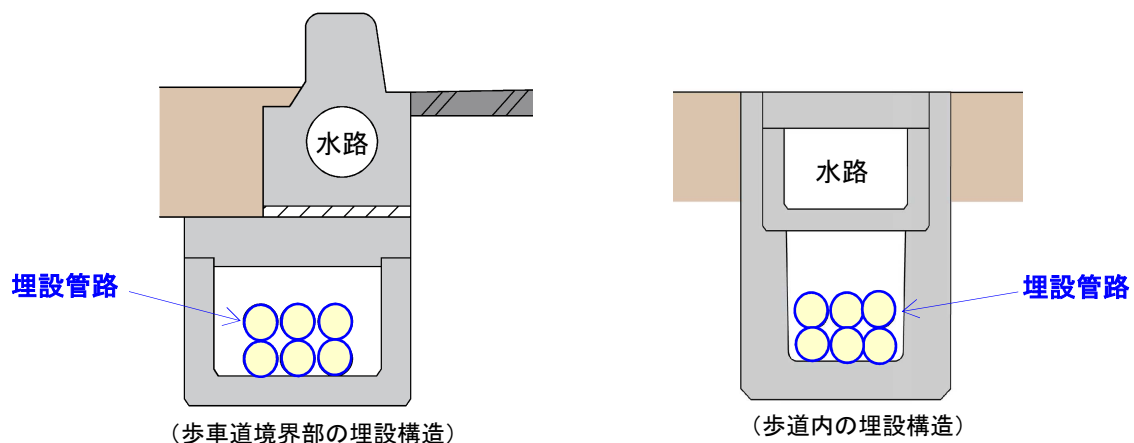
＜通常の埋設管路状況＞

4. 再発防止策について

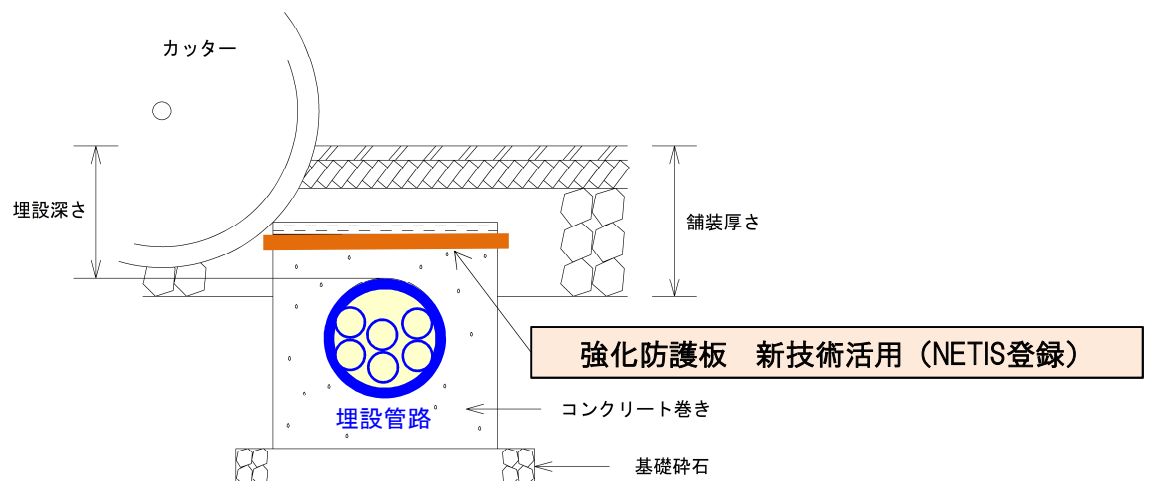
今回の事故原因を踏まえ、同様な事案の再発防止を図るため、以下を進めて参ります。

- 従前から実施している埋設物関係資料及び現地調査等による事前の情報収集、ケーブル管理者の立会、試掘の実施を、着手前に監督職員へ報告することを徹底します。
- 「探査機」等を用いた埋設物調査等を行い、情報収集の補完、事前確認時における事故防止を徹底します。
- また再発防止の抜本対策として、新技术等の活用によりアスファルト舗装内に含まれている区間の構造変更を進めます。
（対策例1）水路一体型の埋設管路構造の活用
（対策例2）衝撃貫通・切断防止機能を備えた強化防護板の活用

※水路一体型の埋設管路構造のイメージ



<（対策例1）水路一体型の埋設管路構造の活用>



<（対策例2）衝撃貫通・切断防止機能を備えた強化防護板の活用>